

年 月	教員組織の動き	教 育	労働組合運動	国際・一般情勢
1965. (昭和40)	<p>1.23 ILOドライバー調査団、日教組中央交渉を中心に調停案提出</p> <p>4.1 日本教職員共済会発足</p> <p>4.15 ILO・ユネスコ、「教員の地位に関する勧告草案」を日本政府に送付</p> <p>4.20 日教組、ILOで午後3時行動開始統一行動</p> <p>5.6 日教組第28回定期大会(水戸～8)、賃金で実行行使、ベトナム反戦1千万署名決定</p> <p>7.10 日教組、ILO・ユネスコの教員の地位に関する勧告支持決定</p> <p>8.27 日教組全国戦術会議(～28)、実行行使の戦術を協議、各県で全員投票</p> <p>9.29 日教組第29回臨時大会(～30)、大幅賃上げ、10.22半日休暇闘争決定</p> <p>10.9 日教組、文相に独自要求書提出</p> <p>10.22 日教組戦術変更指令</p> <p>11.16 東京高裁、都教組勤評闘争に有罪判決</p>	<p>1.11 中教審、「期待される人間像」中間草案発表</p> <p>2.5 日経連、後期中等教育の要望書を中教審に提出</p> <p>2.19 文部省、4月から実施の盲・ろう中学部の新指導要領発表</p> <p>3.31 祝日法案国会提出、廃案</p> <p>5.1 文部省、小・中学校教育課程全面改訂の方針決定</p> <p>6.9 文部省、ILO・ユネスコの教員の地位に関する勧告草案、国情に合わずと発表</p> <p>6.12 東京教育大家永三郎教授、教科書検定で違憲訴訟</p> <p>6.16 福岡県教委、文部省学テ(～17)を実施せず</p> <p>10.10 阿部知二、遠山茂樹ら「教科書検定訴訟を支援する全国連絡会」結成</p> <p>11.19 都教委、入試準備教育の是正について通達(小尾通達、補習授業の廃止など)</p> <p>12.28 文部省、在日朝鮮人子弟の学校教育について通達、各種学校不認可など</p>	<p>1.10 ILOドライバー調査団訪日(～26)</p> <p>1.30 労働4団体の「賃金共同調査センター」発足</p> <p>2.1 総評・社会党、原水爆禁止国民会議(原水禁)結成、あらゆる国の核実験に反対</p> <p>3.16 農村労働組合全国連合会結成</p> <p>4.6 65化合労連等民間9単産スト、戦後最大の春闘</p> <p>4.26 ベトナム反戦国民総決起大集会</p> <p>5.17 参議院本会議、ILO案件修正可決</p> <p>7.10 全織同盟会長滝田実、創価学会と公明党の一体性を全体主義と批判</p> <p>7.31 総評第28回定期大会(～8.4)、公務員賃上げ、ベトナム反戦4千万署名決定</p> <p>8.13 人事院、7.2%、2,615円賃上げ勧告</p> <p>8.31 ドライヤー最終報告書決定</p> <p>11.27 海員組合、賃上げで全国52港スト、2波3波</p>	<p>2.7 米、北ベトナム爆撃開始</p> <p>2.10 社会党岡田春夫、衆院で防衛庁の三矢研究について政府を追及</p> <p>2.21 米、マルコムX暗殺</p> <p>4.20 参議院の緑風会解散</p> <p>4.24 日本でベトナムに平和を！市民文化団体連合(ベ平連)主催、初のデモ行進</p> <p>5.1 電々公社、育児休業制度の試行開始</p> <p>5.27 国営八郎潟干拓地に新農村を建設</p> <p>6.12 新潟大教授、阿賀野川流域で水俣病に似た有機水銀中毒患者が発生していると発表</p> <p>6.22 日韓基本条約調印</p> <p>9.1 インド、パキスタン、カシミールで戦争勃発</p> <p>11.19 閣議、戦後初の赤字国債発行を決定</p> <p>12.11 「日本青年海外協力隊」第1陣派遣壮行会</p> <p>12.17 婦人参政20周年記念集会</p>
1966. (昭和41)	<p>4.13 大阪地裁、学テは教育基本法違反と判決</p> <p>7.11 日教組全国戦術会議、補習全廃と10月中旬に賃上げで半日スト決定</p> <p>7.22 盛岡地裁、岩教組学テ拒否闘争に学テ拒否は違法と7人有罪判決</p> <p>9.19 日教組第31回臨時大会、10.21午後半日スト決議(～20)、各県批准投票</p> <p>10.21 日教組、人勤完全実施、ベトナム戦争反対半日スト、23都道府県32万参加</p> <p>10.22 10.21ストで日教組本部、東京、岩手、佐賀各教組など弾圧、家宅搜索</p> <p>12.21 日教組宮之原委員長、横枝書記長を不当逮捕</p> <p>12.24 岩手で3名不当逮捕</p>	<p>4.5 北海道学芸大、岩大学芸学部など「教育大学」「教育学部」と改称</p> <p>6.24 全国小中学校学力調査実施</p> <p>6.25 「国民の祝日に関する法律一部改正」、建国記念の日、体育の日等新設</p> <p>7.13 都教委、学校群制度など高校入試制度改善基本方針決定</p> <p>10.4 「教員の地位に関する勧告」、ユネスコ特別政府間会議採択</p> <p>10.31 中教審、「後期中等教育の拡充整備について」(期待される人間像)最終答申</p> <p>11.22 文部省、1967年度から全国一斉学力調査中止を決定</p>	<p>2.18 鉄鋼労連、IMF・JCに正式加盟</p> <p>4.26 公労協と交連、交通統一スト</p> <p>6.14 ILO87号条約発効、在職専従制度に関する規定も強行施行</p> <p>7.31 総評第31回定期大会、秋の反戦ストなど決定、議長堀井利勝(～8.4)</p> <p>8.12 人事院、基本給6.9%、2,820円増額を中心とする勧告</p> <p>10.5 第32回総評臨時大会、10.21反戦スト確認</p> <p>10.21 総評48単産、ベトナム反戦統一スト</p> <p>11.16 総評スト権特別委、政府に「ILO87号条約批准便乗改悪規制撤回」申入れ</p>	<p>3.7 政府、紀元節復活の祝日法改正案等を衆院提出</p> <p>3.25 閣議、明治百年記念行事の実施決定</p> <p>4. 中国、社会主義文化大革命始まる</p> <p>5.13 米軍、最大規模の北爆</p> <p>6.29 ザ・ビートルズ来日</p> <p>7.4 三里塚新国際空港、閣議で正式決定</p> <p>8.21 第12回母親大会、総評など不参加(～22)</p> <p>9.5 原潜、横須賀・佐世保同時入港に反対デモ激化</p> <p>10.17 国会で政界の「黒い霧」問題追及</p> <p>11.29 国防会議、第3次防衛計画を決定</p> <p>12.27 衆議院、「黒い霧」解散</p>
1967. (昭和42)	<p>3.1 都教組、群馬県教組の給与支払等請求訴訟、東京高裁で勝訴</p> <p>4.4 日教組、文部省にILO・ユネスコの「教員の地位に関する勧告」について公開質問状を手交</p>	<p>2.11 初の「建国記念の日」、各地で抗議集会</p> <p>2.24 地方教育公務員法、教特法(教公二法)審議の琉球立法院、デモ隊に包囲され本会議流会、11.22廃案</p> <p>5.12 文部省、「道徳指導の諸問題」を全国の小中学校教員に配布</p>	<p>2.14 同盟第3回大会、資本自由化、産業再編対策方針決定(～16)</p> <p>2.27 総評第33回臨時大会(～28)、労戦統一問題で激論</p> <p>4.6 67春闘、鉄鋼労連、八幡などでスト権確立せず</p> <p>5.11 参院社党、55国会に「女子教員の育児休暇法」提案</p>	<p>4.15 都知事選、美濃部亮吉当選、革新都政誕生</p>

年 月	教員組織の動き	教 育	労働組合運動	国際・一般情勢
1967. (昭和42)	<p>5.15 日教組第32回定期大会(青森～19)、反共労働戦線統一に反対</p> <p>7.26 群馬県教組の1958年10月28日の勤評闘争訴訟、前橋地裁で全員無罪</p> <p>9.27 日教組第33回臨時大会(東京～28)、10.26早朝1時間勤務カットのスト決定</p> <p>10.26 日教組、早朝1時間スト</p> <p>11.18 福岡高裁、佐賀県教組定員確保、昇格完全実施要求闘争(57.2)と福岡県教組勤評反対闘争(58.5)で佐教組に検察側控訴棄却、福教組に全員無罪判決</p>	<p>6.10 東京教育大評議会、筑波学園都市へ移転決定、14日学生スト突入</p> <p>6.23 家永三郎、新たに国に対し教科書不合格処分取消行政訴訟</p> <p>8.1 全国障害児者問題研究会結成(～3)</p> <p>8.11 理科教育および産業教育審議会、「高校における職業教育の多様化について」答申</p> <p>8.19 文部省、公立学校の宿日直制度を昭和43年度から1部学校で廃止の具体案決定</p> <p>9.10 学術奨励審議会を廃止、学術審議会設置</p> <p>12.28 灘尾文相、記者会見で小学校での国防教育を強調</p>	<p>5.1 第38回メーデー、全国840カ所、660万参加</p> <p>7.14 三池炭鉱CO中毒患者家族会、CO特別法制定を求め145時間抵抗座り込み</p> <p>8.15 人事院、7.9%、3,520円の引上げ勧告</p> <p>9.18 総評スト権奪還特別委、公務員制度審議会への復帰を決定</p> <p>10.16 沖縄県労協、国際自由労連加盟決定</p> <p>10.18 国労、米軍の軍需輸送に反対し順法闘争</p> <p>10.21 総評、中立労連、ベトナム反戦10.21集会、全国150万人参加</p> <p>12.12 国労、5万人合理化に反対し東京中心に順法闘争</p>	<p>6.5 アラブ諸国、イスラエル間に中東戦争勃発</p> <p>6.6 閣議、資本取引自由化方針決定</p> <p>7.1 ヨーロッパ共同体(EC)成立</p> <p>7.23 デトロイトで史上最大の黒人暴動おこる</p> <p>7.28 ラジオ受信料の廃止決定</p> <p>8.3 公害対策基本法公布</p> <p>8.8 東南アジア諸国連合(ASEAN)結成</p> <p>11.7 第22回国連総会、婦人に対する差別撤廃宣言採択</p> <p>11.16 佐藤・ジョンソン会談、日米共同声明</p> <p>12.1 都電8路線廃止</p>
1968. (昭和43)	<p>2.10 全国の地裁で超勤手当支払の民事訴訟開始</p> <p>2.29 退職婦人教職員全国連絡協議会結成、会長高田なほ子</p> <p>3.5 日教組第76回中央委、教育3法反対で時限スト、総学習、総抵抗運動提起</p> <p>4.10 全国委員長書記長会議、教特法改正案粉砕で4～5月に早朝勤務30分カットのスト含む闘争方針</p> <p>5.7 日教組第34回定期大会(浦和～10)、教育3法粉砕で国会陳情、プロ専従制、23日早朝30分スト決定</p> <p>7.13 福岡高教組の校長着任拒否闘争での処分(免職21人ほか)に対し提訴決定</p> <p>7.下 日教組、夏休みに教師の総学習・総抵抗運動開始</p> <p>8.19 全国戦術会議、10.8早朝1時間カットスト決定</p> <p>10.8 日教組、早朝1時間スト</p>	<p>1.29 東大医学部、無期限ストに突入(東大紛争の発端)</p> <p>3.4 「教育公務員特例法の一部を改正する法律案」を国会に提出</p> <p>3.12 「学校教育法の一部を改正する法律案」等を国会に提出</p> <p>3.28 東大闘争激化、卒業式中止</p> <p>4.17 美濃部都知事、朝鮮大学校を各種学校として認可、文相遺憾の談話</p> <p>4.19 宗像誠也ら学者19名、教育3法案反対声明</p> <p>5.24 教育3法案廃案</p> <p>5.31 文部省、昭和46年度実施の小学校学習指導要領案まとめる</p> <p>6.17 東大で機動隊導入、紛争、全学規模に発展</p> <p>7.3 毎日新聞調査、大学紛争54校に</p> <p>7.11 小学校学習指導要領告示、神話導入など</p> <p>9.30 日大全学共闘会議系学生1万人、会頭と翌朝に及び大衆団交</p> <p>11.15 経済同友会、「大学の基本問題」発表</p>	<p>1.12 三池労組、CO中毒患者解雇反対で24時間スト</p> <p>1.18 同盟第4回定期大会、新会長に滝田実を選出(～20)</p> <p>3.6 総評第35回臨時大会、1万円賃上げ方針を決定</p> <p>3.9 第13回はたらく婦人の中央集会(～11)</p> <p>5.1 第39回メーデー、全国1,093カ所、680万人参加</p> <p>5.1 電々公社、育児休職制度本格実施</p> <p>8.16 人事院、8.0%、3,973円引上げ勧告</p> <p>8.20 労戦統一推進に積極的な全通、鉄鋼労連など9単産の書記長による労働問題研究会が初会合</p> <p>10.8 公務員共闘、人勧完全実施を要求、初の統一スト</p> <p>10.20 同盟傘下の新国労が解散、新たに鉄道労働組合(鉄労)結成</p> <p>11.29 妊婦の通院休暇制度化実現(人事院規則)</p>	<p>1.19 原子力空母エンタープライズ佐世保入港反対闘争激化</p> <p>2.26 成田新空港建設反対デモ</p> <p>3.9 富山県のイタイイタイ病で患者が訴訟</p> <p>3.16 ベトナム、ソンミ村で米軍、住民を大量虐殺</p> <p>4.4 米黒人運動指導者キング牧師暗殺される、39歳</p> <p>4.5 小笠原返還協定調印</p> <p>4.28 沖縄祖国復帰デー</p> <p>5.3 パリで学生、警官と乱闘事件、5月危機始まる</p> <p>7.1 核拡散防止条約調印(62カ国、日本は未調印)</p> <p>8.8 札幌医大で日本初の心臓移植手術</p> <p>8.20 ソ連・東欧軍、チェコに侵入、チェコ全土でゼネスト</p> <p>10.23 政府主催、明治百年記念式典</p> <p>10.31 米、北爆全面停止発表</p> <p>11.6 米大統領に共和党ニクソン当選</p> <p>11.10 沖縄県議会議長、革新統一候補、屋良朝苗当選</p> <p>12.10 3億円強奪事件発生</p>

年 月	教員組織の動き	教 育	労働組合運動	国際・一般情勢
1969. (昭和44)	<p>1.9 東大等の入試中止反対を文部省に申入れ</p> <p>2.19 岩手県教組、学テ阻止闘争事件(61.10)、控訴審判決で全員無罪勝利</p> <p>4.1 全国大学教職員組合結成</p> <p>4.2 最高裁、都教組勤評闘争事件で全員無罪判決</p> <p>6.16 日教組第36回定期大会(鳥取～20)、反安保、沖縄即時無条件返還闘争など承認、宮之原・榎枝5選</p> <p>7.19 大学立法に反対する全国教職員連絡協議会結成</p> <p>10.15 北海道、山形、静岡など各教委に66.10.21統一行動以降の行政処分取消し請求のマンモス提訴</p> <p>10.27 沖縄教職員会、首相訪米反対で11.23に24時間スト決定</p> <p>11.13 日教組、賃金、沖縄返還で早朝1時間半スト</p>	<p>1.19 東大安田講堂に機動隊出動、封鎖解除</p> <p>1.20 東大、東教大、69年度入試中止を発表</p> <p>2.16 自民党文教制度調査会、「教育改革試案」発表</p> <p>2.24 警察庁、高校生の紛争防止を各県警に通達</p> <p>4.14 文部省、中学校新学習指導要領告示</p> <p>4.30 中教審、「当面する大学教育の課題に対応するための方策」答申</p> <p>5.24 閣議、大学の運営に関する臨時措置法国会提出、8.3強行採決、8.17施行</p> <p>7.24 東京教育大、筑波学園都市への移転決定</p> <p>9.18 日経連、「教育の基本問題に対する産業界の見解」発表</p> <p>10.31 文部省、「高等学校における政治的教養と政治的活動について」(通知)</p>	<p>2.26 炭労、石炭国有化闘争第1次中央行動(～3.2)</p> <p>3.1 炭労、経営不振による廃山に反対、国有化を要求して52山で24時間スト</p> <p>4.24 私鉄総連大手8社、3年ぶりに24時間スト突入</p> <p>5.1 第40回メーデー、全国1,076カ所、690万人参加</p> <p>6.5 全沖縄軍労組、賃上げと解雇反対で初の24時間スト</p> <p>8.15 人事院、10.2%、5,660円引上げ勧告</p> <p>8.15 婦人少年問題審議会、「女子パートタイム雇用の対策についての建議」を労働、厚生大臣に提出</p>	<p>1.25 ベトナム和平拡大パリ会談初会合</p> <p>1.24 東京都知事、公営ギャンブル廃止を表明</p> <p>3.10 佐藤首相、衆院予算委の答弁で沖縄の「本土なみ」返還を示唆</p> <p>5.23 政府、初の「公害白書」</p> <p>5.30 閣議、新全国総合開発計画決定</p> <p>7.20 アポロ11号、月面着陸、人類初めて月に立つ</p> <p>9.3 北ベトナム、ホー・チ・ミン大統領死去、79歳</p> <p>11.21 日米共同声明(安保条約の自動延長、72年沖縄返還など)</p>
1970. (昭和45)	<p>1.14 福岡県教委、昨年7、11月の人勤完全実施要求統一ストで22,000人処分</p> <p>2.20 私学部初の統一スト</p> <p>2.25 11.13スト処分、22都道府県と3特別市で83,775人</p> <p>3.9 日教組第80回中央委(～10)、「教職員の労働時間と賃金のあり方」(草案)を了承、賃金闘争方針討議</p> <p>6.2 日教組第38回定期大会(徳島～4)、賃金、時短と教育改革の方針決定</p> <p>6.6 福岡県教委、伝習館高3教諭を「偏向教育」を行ったとし懲戒免職処分、12.2提訴</p> <p>6.28 反日教組団体、大同団結し日本教職員連盟結成</p> <p>7.16 最高裁、和教組勤評事件で全員無罪判決</p> <p>10.24 日教組、育児休暇立法対策委員会設置</p> <p>11.10 日教組、全国戦術会議で公害学習を含む公害闘争方針確認</p> <p>12.1 日教組、教育制度検討委員会発足、会長梅根悟、事務局長小川利夫</p>	<p>1.12 OECD対日教育調査団、調査活動開始</p> <p>3.20 警視庁、354高校のゲバ卒業式で50人検挙と発表</p> <p>5.6 文部省、高等学校学習指導要領案発表</p> <p>5.12 「日本私学振興財団法」可決成立</p> <p>5.21 日本国連代表、国連大学の日本誘致案を正式提出</p> <p>5.28 中教審、「高等教育の改革に関する基本構想」を決定、「初等・中等教育の改革に関する基本構想試案」了承</p> <p>7.17 東京地裁、教科書裁判で家永教授勝訴の判決(杉本判決)</p> <p>8.27 日本教育法学会創立総会、会長有倉遼吉</p> <p>9.7 東京教育大評議会、紛争解決を遅らせたとして家永三郎ら3教授に辞職勧告、9.12文学部教授会、拒否</p> <p>9.17 坂田文相、沖縄を視察、「本土復帰とともに教委は任命制に切り替える」と発言</p> <p>10.15 文部省、新高等学校学習指導要領告示</p> <p>10.23 教育課程審議会、特殊教育(小中学部)の改訂を文相に答申</p> <p>11.16 文部省、OECD教育視察団報告書を発表</p>	<p>1.8 全軍労組、沖縄米軍の解雇通告に反対して48時間スト</p> <p>1. 全国民間主要労組委員長懇話会(全民懇)を大阪で結成</p> <p>5.11 育休問題超党派婦人議員懇談会結成</p> <p>5.29 総評第5回拡大評議会、労戦統一4原則を提起</p> <p>6.23 総評など反安保集会、全国77万人参加</p> <p>8.9 総評第40回定期大会(～13)、議長に市川誠、事務局長に大木正吾選出</p> <p>8.14 人事院、12.67%、8,022円引上げ勧告</p> <p>10.17 総評、スト権奪還・労働基本権確立統一スト</p> <p>11. 総評、労戦統一特別対策委員会初会合、労働4団体による戦線統一世話人会発足</p> <p>11.29 総評・公害被害者団体共催、初の公害メーデー、80万人参加</p>	<p>2.3 政府、核拡散防止条約に調印</p> <p>3.14 大阪万国博覧会開幕(～9.13)</p> <p>3.31 赤軍派、日航機よど号をハイジャック、北朝鮮へ亡命</p> <p>4.1 人事院規則改正、妊娠時の通院許可</p> <p>5.1 政府、「新経済社会発展計画」閣議決定</p> <p>6.23 日米安保条約自動延長</p> <p>7.18 東京で光化学スモッグ相次いで発生</p> <p>10.20 防衛庁、初の防衛白書発表</p> <p>10.21 防衛庁、第4次防衛計画発表、総額5兆8000億円</p> <p>11.25 三島由紀夫、市ヶ谷自衛隊駐屯地で自殺</p>

年 月	教員組織の動き	教 育	労働組合運動	国際・一般情勢
1971. (昭和46)	<p>1.29 日教組、育児休暇制度の立法化申入れ</p> <p>3.5 日教組第83回中央委、給特法案の闘争方針、反戦教師と学生が乱入、占拠</p> <p>3.23 最高裁、福岡県教組事件と佐賀県教組事件に全員無罪判決</p> <p>5.15 全国戦術会議、教特法反対でスト方針再確認</p> <p>5.20 日教組、教特法で早朝30分スト（34都道府県参加）</p> <p>6.14 教育制度検討委、『日本の教育はどうあるべきか』第1次報告書提出</p> <p>7.22 第39回定期大会（佐賀県嬉野町～26）、榎枝委員長、中小路書記長選出</p> <p>9.7 育児休暇問題研究会発足</p> <p>9.29 沖縄教職員会解散9.30沖縄教職員組合結成</p> <p>10.17 原爆被爆教師の会全国連絡会結成、会長石田明</p>	<p>3.5 大阪大、大阪市大で入試問題売買事件判明</p> <p>4.1 小学校教育課程全面改訂、新教科書使用</p> <p>4.2 創価大学開所式</p> <p>4.30 社会教育審議会「急激な社会構造の変化に対処する社会教育のあり方について」答申</p> <p>5.24 「国立及び公立の義務教育諸学校等の教育職員の給与等に関する特別措置法」成立</p> <p>6.11 中教審、「今後における学校教育の総合的な拡充整備のための基本的施策について」最終答申（第3の教育改革）</p> <p>11.6 総評、日教組など16団体、「民主教育をすすめる国民連合」結成、12.7第1回大集会開催（～8）</p>	<p>2.8 人事院、教員の超勤問題で教職調整額4%支給、労基法36、37条の適用排除を勧告</p> <p>2. 11単産による労働戦線統一拡大世話会発足</p> <p>3.6 第16回はたらく婦人の中央集会（～7）</p> <p>8.13 人事院、11.74%、8,578円引上げ勧告</p> <p>8.28 全国民間労働組合連絡協議会結成のための初会合</p> <p>10.21 国際反戦デー、全国600カ所、150万人参加</p> <p>12.28 参議院文教委に女子教育職員・育児休暇制度に関する委員会設置</p>	<p>4.10 婦人参政権獲得25周年記念集会、街頭宣伝行動</p> <p>5.13 連続婦女暴行殺人犯、大久保清を逮捕</p> <p>5.15 東亜国内航空設立</p> <p>6.17 ワシントンで沖縄返還協定調印、全国で抗議行動</p> <p>7.1 環境庁発足</p> <p>7.30 岩手県栗石上空で自衛隊機が旅客機に衝突、162人死亡</p> <p>8.15 ニクソン、金とドルの交換停止発表</p> <p>10.25 国連総会、中国の国連復帰、台湾追放</p> <p>12.3 インド・パキスタン全面戦争</p> <p>12.20 円切上げ、1ドル308円</p>
1972. (昭和47)	<p>1.10 日教組、初の教育黒書『中教審路線の教育実態』発表</p> <p>3.24 東京地裁、伊藤吉春氏の勤評不提出の懲戒免職処分取消請求を棄却</p> <p>5.31 日教組、黒書Ⅱ『中教審路線の教職員支配』発表</p> <p>6.12 教育制度検討委、『日本の教育をどう改めるべきか』第2次報告書提出</p> <p>6.19 日教組第41回定期大会（秋田～22）、指導要領の拘束性撤廃、教育課程の自主編成推進、市販テスト不使用運動開始、学校5日制実現など決議、新教育会館建設を決定</p> <p>10.10 日教組、中教審路線黒書Ⅲ『市販テスト』発表</p> <p>10.19 日教組第86回中央委、ILO提訴、学校5日制など討議</p>	<p>7.21 立川市立中学の音楽教師、生徒全員に「3」の成績評価</p> <p>9.5 学制発布百年</p> <p>9.16 東南アジア9カ国教員会議開催（～19、日教組主催）</p> <p>10.5 文部省記念式典</p> <p>11.6 「民主教育をすすめる国民連合」大集会</p>	<p>4.27 72春闘、全港運・公労協が初の国鉄・私鉄同時ストに突入</p> <p>6.7 全労連幹事会、市川総評議長の労戦統一「7方針」を批判（～8）</p> <p>6.15 勤労婦人福祉法成立</p> <p>7.25 三橋私鉄総連委員長、労戦統一で三橋構想発表</p> <p>8.15 人事院、10.68%、8,907円引上げ勧告</p> <p>9.20 日本専売公社、育児休暇制度実施</p> <p>10.3 全日本自動車産業労働組合総連合会（自動車総連）結成大会（～4）</p> <p>12.16 労戦統一民間単産連絡会議、総評と同盟が対立</p>	<p>1.24 横井庄一元軍曹、28年ぶりにグアムから帰国</p> <p>2.3 第11回冬季五輪札幌大会開催（～13）</p> <p>2.19 連合赤軍浅間山荘事件発生（～28）</p> <p>2.27 ニクソン大統領訪中、米中共同声明</p> <p>5.5 第1回ウーマンリブ大会</p> <p>5.15 沖縄の施政権返還、日本復帰</p> <p>6.11 田中角栄通産相、「日本列島改造論」発表</p> <p>7.7 田中角栄内閣成立</p> <p>7.28 中国共産党、林彪墜落死と発表</p> <p>9.29 田中首相訪中、日中国交回復、国交正常化の共同声明</p> <p>11.13 岡田嘉子、ソ連から34年ぶりに帰国</p> <p>12.18 国連総会、75年を国際女性年とする宣言</p>
1973. (昭和48)	<p>1.31 全国委員長書記長会議、半日ストの春闘方針決定</p> <p>2.28 全国戦術会議、教員給与10%アップ反対で半日スト確認</p> <p>3.1 日教組第42回臨時大会（～2）、半日ストと人材確保法について討議</p>	<p>2.8 政府、「筑波大学法案」を閣議決定</p> <p>2.20 政府、「教職員の人材確保法案」を閣議決定</p> <p>3.1 高等教育懇談会、高等教育拡充整備の基本構想発表</p> <p>3.23 政府、「教頭職法制化法案」を閣議決定</p>	<p>3.24 第18回はたらく婦人の中央集会（～25）</p>	<p>1.27 パリでベトナム和平協定調印</p> <p>2.14 政府、円の変動相場制移行を実施</p> <p>3.20 熊本地裁、水俣病公害訴訟で患者側勝訴</p>

年 月	教員組織の動き	教 育	労働組合運動	国際・一般情勢
1973. (昭和48)	<p>4.27 日教組、春闘半日スト</p> <p>6.18 教育制度検討委、第3次報告書『統・日本の教育をどう改めるべきか』提出</p> <p>6.26 沖縄県教組、日教組加盟問題を討議</p> <p>6.26 全国戦術会議、文教3法案阻止で7.19全国統一スト決定</p> <p>7.10 日教組第43回定期大会(前橋～13)、開催地変更、「日本教育会館建設委員会」設置を決定</p> <p>7.19 教育3法阻止時限スト</p> <p>10.6 母と女教師の会20周年記念全国集会(～7)</p> <p>11.21 私学部加盟組合、公費助成制度法制化、授業料値上げ反対の半日スト</p>	<p>5.22 ILO委、日教組などに団交権を与えるよう政府に通告</p> <p>6.29 筑波大学法案、衆院本会議で可決</p> <p>7.20 教育職員免許法改正公布</p> <p>9.25 「筑波大学法」参院本会議で自民単独可決成立、公布</p> <p>9.29</p> <p>11.20 文部省、養護学校の全国的配置と就学義務を79.4.1と決定</p> <p>11.21 文部省、教育課程審議会発足</p>	<p>4.25 最高裁、全農林警職法事件に有罪判決、スト刑事罰からの解放否定</p> <p>4.27 春闘史上初の交通ゼネスト、68単産310万人(～28)</p> <p>5.1 公明党、メーデー初参加</p> <p>8.9 人事院、15.39%、14,493円引上げ勧告</p> <p>9.3 第3次公務員制度審議会答申(最終報告書)</p> <p>9.19 国労、大量処分に対し、3日間の順法闘争に突入</p> <p>10.15 世界労連第8回世界労働組合大会、120カ国参加(～22)</p> <p>11. 民間労組共同行動会議発足</p>	<p>4.2 地価公示、全国平均で前年比33.3%の高騰</p> <p>5.12 中ピ連、ビル解禁を求め厚生省に座り込み</p> <p>8.8 金大中、都内のホテルから拉致される事件発生</p> <p>9.7 札幌地裁、長沼ナイキ基地訴訟、自衛隊違憲判決</p> <p>10.6 ベ平連解散決定</p> <p>10.6 第4次中東戦争勃発</p> <p>11.5 OPEC、原油生産削減発表(オイルショック)</p> <p>11.14 共産党大会、民主連合政府綱領を発表</p>
1974. (昭和49)	<p>1.10 沖縄高教組、日教組加盟を決定</p> <p>1.14 沖縄県教組、日教組加盟を決定</p> <p>2.21 学校5日制、週休2日制で要求書を文相に提出</p> <p>3.6 日教組の仮書記局ホワイトビル(目白)完成</p> <p>3.9 日教組本部、教育会館事務局など移転開始</p> <p>3.30 教育会館解体式</p> <p>4.11 日教組、春闘で初の全日スト(35都道府県)</p> <p>4.30 日教組、『評価とテスト-市販テスト不使用運動の前進のために』発表</p> <p>5.21 教育制度検討委、最終報告書『日本の教育改革を求めて』提出</p> <p>5.23 日教組、4.11刑事弾圧粉砕・教頭法阻止で早朝1時間スト</p> <p>6.11 榎枝委員長ら、地公法違反容疑で逮捕される</p> <p>6.13 榎枝委員長、増田都教組、埼玉、岩手各県教組委員長起訴される</p> <p>8.24 教師の力量を高めるための第1回自主編成研究講座開催(長野～28)</p> <p>8.27 日教組第45回定期大会(立川～30)、政党支持問題、教師聖職論などで激論</p>	<p>1.26 家庭科の男女共修をすすめる会(市川房枝)結成</p> <p>2.22 「教員人材確保法」衆院本会議で成立、公布2.25</p> <p>4.4 自民党、日教組のストに公開質問状</p> <p>4.17 日本共産党「教師聖職論」発表</p> <p>4.26 社会教育審議会、在学青少年の社会教育につき建議</p> <p>5.13 田中首相、新潟で「五つの大切・十の反省」提唱</p> <p>5.27 参院本会議、教頭職法制化法案可決、6.1施行</p> <p>6.4 民社党、教師を「勤労者の性格をもつ聖職」と規定</p> <p>7.16 東京地裁、第1次教科書訴訟で国に10万円の損害賠償支払いを命ずる判決</p> <p>11.19 ユネスコ第18回総会、「国際理解、国際協力及び国際平和のための教育等の勧告」採択</p> <p>11.22 兵庫・八鹿高で生徒の「部落解放研究会」設置を廻り暴行事件</p>	<p>3.18 人事院、「教員人材確保法」成立により、小中教員平均9%、高校教員平均5.5%引上げ勧告</p> <p>4.3 74国民春闘勝利、ゼネスト宣言中央総決起集会</p> <p>4.11 74春闘、私鉄総連が48時間ストに突入</p> <p>4.25 総評、革新政党など、「日教組弾圧反対教育反動化粉砕国民共闘会議」結成</p> <p>5.30 人事院、10%の暫定給与と上積み勧告、6月支給</p> <p>7.26 人事院、29.64%、31,144円引上げ勧告</p> <p>11.19 秋闘共闘委、インフレからの生活防衛などで統一スト</p>	<p>2.26 元陸軍少尉小野田寛郎、ルバング島から帰国</p> <p>3.4 イギリス、労働党ウィルソン内閣成立</p> <p>5.6 西独ブランド首相、秘書スパイ事件に関連して辞任</p> <p>5.18 日本消費者連盟発足</p> <p>6.1 電気料金、平均56.8%の大幅値上げ</p> <p>8.8 ニクソン、ウォーターゲート事件で辞任、8.9 フォード副大統領、大統領就任</p> <p>8.14 韓国、光復節式典で朴大統領狙撃事件</p> <p>8.30 丸の内三菱重工本社ビルで爆破事件、8人死亡</p> <p>11.26 金脈問題で田中首相辞任表明</p>

年 月	教員組織の動き	教 育	労働組合運動	国際・一般情勢
1974. (昭和49)	12.9 日教組、永井道雄文相に条件付歓迎談話発表 12.18 日教組、八鹿高校問題で公式見解発表	12.9 永井道雄文相就任	12.5 統一戦線促進労働組合懇談会(統一労組懇)結成	12.9 三木武夫内閣成立 12.18 国際婦人年日本準備会懇談会
1975. (昭和50)	2.27 第1回女子教育問題研究会開催(東京) 3.20 「子どもの学習と生活に関する意識調査」発表 6.19 国体の民主的改革案発表 7.3 参議院で育児休業法案可決、7.11公布 7.10 日教組第47回定期大会(明石～14)、日の丸・君が代についての統一見解 7.30 第24回世界教職員団体総連合会(WCOTP)、榎枝委員長を副会長に選出(～8.6) 8.9 国際婦人年母と女教師の会全国集会(～10) 11.10 日教組第48回臨時大会(～11)、主任制度化粉碎で非常事態宣言 12.10 日教組、主任制反対で半日スト	6.3 大阪地裁、矢田事件の判決公判で監禁罪に問われた部落解放同盟副委員長らに無罪判決 6.19 教育の正常化推進などを掲げ、社団法人「日本教育会」結成 7.11 私立学校振興助成法公布 10.15 文部省、小中高に教務、生活、健康の3部長制(主任制)の構想発表 12.20 東京高裁、第2次教科書訴訟で憲法判断を避け、国側の控訴棄却	5.25 第20回はたらく婦人の中央集会(～26) 8.13 人事院、10.85%、15,177円引上げ勧告 11.17 総評第51回臨時大会、スト権闘争と春闘方針決定 11.26 国労・動労等、スト権奪還で8日間のスト突入(～12.3)	1.1 国連、国際婦人年を宣言 3.5 蒋介石死去、87歳 3.10 新幹線、博多まで延長 4.30 ベトナム解放軍、サイゴンに無血入城、戦争終了 5.19 警視庁、連続企業爆破容疑で8人逮捕 7.2 国連国際婦人年世界会議、「メキシコ宣言」を採択して閉会 7.19 沖縄海洋博で皇太子夫妻、火炎瓶投げられる 9.30 天皇・皇后訪米(～10.14) 11.15 ランブイエ(仏)で第1回先進国首脳会議開催 11.20 フランコ将軍死去、83歳、独裁に幕 11.22 国際婦人年日本大会開催(共立講堂) 12.1 政府、スト中止要請
1976. (昭和51)	1.3 戦術会議、主任制度化反対の闘争方針決定 2.2 日教組、主任制導入に踏み切った鹿児島県を拠点に現地闘争本部設置 2.27 兵庫県教組、主任制で午前2時間スト 3.9 日教組、教員給与第3次改善勧告の撤回で早朝2時間スト 4.22 日教組、3万円賃上げ、主任制反対で2時間スト 5.11 日教組・民研、5万人の小中学生対象の「学力実態調査」発表 5.17 中央教育課程検討委、「教育課程改革試案」発表 5.19 北教組、主任制粉碎で全日スト、6.5 捜索弾圧 5.20 福岡県教組、主任制反対で半日スト 6.1 日教組第49回定期大会(広島～4)、主任制粉碎、教育白書運動などを決議 7.28 道警、北教組全日ストに委員長・書記ら3人逮捕、主任では全国初 8.28 第1回全国高校女子教育問題研究会(大分)	3.1 学校教育法施行規則改正施行(主任制度化) 4.11 ILOとユネスコ、教職員のスト権を再確認 5.21 最高裁、旭川・岩手学テ反対闘争の原告審判決で、原判決を破棄、全員有罪判決 12.18 教育課程審議会、「小中高等学校の教育課程の基準改善について」答申	1. 労働4団体、共闘推進で合意 3.11 人事院、育休給7.7%支給を勧告 3.18 国際婦人年婦人教育労働者集会(東京) 3.20 76春闘、国労・動労・私鉄総連の76時間ストを軸に67単産がストに突入 4.1 育児休業法施行 5.29 第21回はたらく婦人の中央集会開催 7.19 総評第52回定期大会(～23)、議長に日教組榎枝委員長、事務局長に国労富塚三夫を選出 8.10 人事院、6.94%、11,014円引上げ勧告 10.5 婦人少年問題審議会、「雇用における男女の機会均等と待遇の平等の促進に関する建議」提出 10. 政策推進労働組合議発足、有力13単産参加	1.8 周恩来死去、78歳 2.4 米上院公聴会でロッキード事件発覚 4.5 中国、天安門事件 4.7 華国鋒首相就任、10.10主席に就任 4.13 カンボジア、ポルポト首相に就任 6.16 自民党を離党した河野洋平ら新自由クラブ結成 7.2 ベトナム社会主義共和国樹立、南北統一 7.27 東京地検、田中前首相を受託収賄容疑で逮捕 8.19 三木退陣を求め、自民党内で挙党協結成 9.9 毛沢東死去、82歳 9.12 江青ら4人組逮捕 11.10 天皇在位50年式典 12.5 戦後初の任期満了による総選挙、自民大敗12.7三木首相退陣表明 12.24 福田赳夫内閣成立、文相海部俊樹就任12.27国連、国際児童年に関する決議

年 月	教員組織の動き	教 育	労働組合運動	国際・一般情勢
1977. (昭和52)	<p>1.28 第26次全国教研で「女子教育小分科会」設置（浦和～31）</p> <p>3.1 日教組第50回臨時大会、春闘大幅賃上げ、主任制粉碎の全国統一スト決定</p> <p>3.10 日教組、海部文相に本俸の16%、平均3万円以上の賃上げ、主任制撤回要求</p> <p>4.7 新日本教育会館が完成、竣工式、4.8移転</p> <p>4.15 公務員共闘統一スト日教組、17都道府県で2時間の第1波スト、20万人参加</p> <p>6.3 日教組結成30周年、日本教育会館落成記念式典・祝賀会開催</p> <p>6.11 第5回全国平和教育シンポジウム（広島～12）</p> <p>6.20 日教組、海部文相に「君が代」を国歌とする規定削除を申入れ</p> <p>9.8 日教組大学問題検討委発足、会長梅根悟</p> <p>9.22 日教組、主任手当撤回で1万人集会（日比谷）</p> <p>11.24 総評統一ストの一還とし、主任手当阻止で午後3時から2時間の統一スト（33都道府県参加）</p> <p>12.23 最高裁、1958年の日教組勤評事件上告審で組合側の上告棄却判決</p> <p>12.27 福岡地裁、74年「10.4通達」で処分された日教組組合員の「内申抜き処分無効確認訴訟」で、地教委に内申権認め、処分取消判決</p>	<p>1.24 海部首相、日教組の教師の倫理綱領にふれ「階級闘争の部分は取り除いた方がよい」などと発言</p> <p>3.2 文部省、4月実施の週休2日制の「試行実施細目」を都道府県教委に通知</p> <p>5.2 大学入試センター発足</p> <p>6.10 第11期中教審、3年ぶりに発足</p> <p>7.23 文部省、小中学校新学習指導要領告示、「ゆとり」志向、君が代を国歌と規定など</p> <p>12.21 主任手当支給と1本化の給与法成立</p>	<p>1.27 春闘共闘、「77国民春闘・生活要求、1.27中央総決起集会」開催</p> <p>3.7 労働4団体代表、石田労相と会談、雇用問題で政労懇設置を確認</p> <p>4.8 春闘共闘会議、第1波官民統一スト</p> <p>4.15 同上、第2波官民統一スト</p> <p>5.4 最高裁、58春闘の名古屋中野事件で東京中野事件の判決を変更し有罪判決</p> <p>6.13 原水爆禁止統一実行委員会結成</p> <p>8.7 人事院、6.92%、12,005円引上げ勧告</p> <p>8.17 総評第55回定期大会（～20）、反自民統一戦線形成に向けて反安保・反独占路線を修正</p> <p>9.17 総評横枝議長、社会党内の抗争打開に関して見解表明</p> <p>11.24 総評、離職者対策法成立などで第2波統一行動、国労など官民25単産がスト</p>	<p>1.23 社会党左派、三月会結成</p> <p>3.26 江田三郎社会党前副委員長、社会党離党</p> <p>4.26 革新自由連合発足、代表中山千夏</p> <p>5.22 江田三郎急死、70歳</p> <p>7.12 中比連、日本女性党解散</p> <p>7.16 中国、鄧小平が副主席に復活</p> <p>7.25 米、在韓米地上軍の撤退を決定</p> <p>8.3 原水禁世界大会、14年ぶりに統一集会（～4）</p> <p>8.9 最高裁、狭山事件の石川被告の上告棄却、有罪確定</p> <p>9.28 日本赤軍、ボンベイでハイジャック、政府に勾留中のメンバーの釈放と身代金16億円を要求、6名「超法規的措置」で出国</p> <p>10.1 うたごえ喫茶「ともしび」閉店</p> <p>11.4 閣議、第3次全国総合開発計画決定</p> <p>11.30 立川基地、32年ぶりに全面返還</p> <p>12.13 社会党大会、飛鳥田一雄を新委員長に選出</p>
1978. (昭和53)	<p>3.15 那覇地裁、1967年の教公二法事件判決公判で16人有罪、8人無罪</p> <p>4.25 日教組、32都道府県でスト突入、21万5,000人参加</p> <p>5.12 「産休代替法」改正、事務・栄養職員適用</p> <p>7.26 WCOTP総会（ジャカルタ）、横枝日教組委員長、第4代会長に選出</p> <p>7.28 福岡地裁、伝習館訴訟で3名のうち2教諭の処分取消し判決</p>	<p>1.19 人事院、教員の主任手当てを実施</p> <p>3.15 東京教育大学閉学記念式挙行</p> <p>4.20 衆院本会議、新潟・兵庫教育大学院大学設置法案可決、10.1開校</p> <p>5.12 衆参本会議で、産休代替法可決成立</p> <p>6.16 中教審「教員の資質能力向上について」答申</p> <p>6.17 新構想による教員養成大学として兵庫・上越の2教育大学設置</p> <p>6.22 文部省、新高等学校学習指導要領案を公表</p>	<p>1.30 社会党「男女雇用平等法」案発表</p> <p>4.25 公務員共闘スト</p> <p>5.1 第49回メーデー、全国1,361会場、182万4,000人参加</p> <p>7.15 総評第57回定期大会（～18）、反独占、反自民の立場が復活、OECD労組諮問委への加盟決定</p> <p>8.11 人事院、3.84%、7,269円引上げ勧告</p>	<p>3.26 社会民主連合結成、代表田英夫</p> <p>4.6 池袋にサンシャイン60オープン</p> <p>5.20 新東京国際空港開港</p> <p>5.22 国連軍縮特別総会出席の日本代表団（502人）の第1団が出発</p> <p>6.1 最高裁、外務省機密漏洩事件の西山元記者の上告棄却、有罪確定</p> <p>8.12 北京で日中平和友好条約調印</p>

年 月	教員組織の動き	教 育	労働組合運動	国際・一般情勢
1978. (昭和53)	11.13 日教組・民研「学級規模と教育活動に関する調査」発表 11.20 日教組、教職員定数で大阪を皮切りに過密県中央動員始める	10.23 教育課程審議会、盲・ろう・養護学校の教育課程基準改善を答申 12.15 中野区議会、教育委員準公選条例案を可決	10.26 第21回全国婦人代表者会議（～27）開催、国際児童年成功に向けて闘いと活動の重点を討議	11.7 靖国神社、東條英機らA級戦犯14人を合祀 12.7 大平正芳内閣成立
1979. (昭和54)	4.20 日教組、全国戦術会議で25、27日に始業時から1時間スト突入を決議（25日スト中止指令） 6.1 (財)日本教育会館、『日本教育会館50年沿革史』を刊行、6.8記念集会 6.19 大学問題検討委、「日本の大学—その現状と改革への提言」を榎枝委員長に提出、6.30発表 9.29 榎枝委員長、40人学級実現のための「6カ年計画」発表 12.11 日教組の教育行政民主化対策委「教育行政白書運動」の手引書作成	1.13 国公立大学初の共通1次学力試験実施（～14） 3.28 東京地裁、内申書裁判で学習権保障の立場から原告勝訴判決 4.1 養護学校義務制実施 5.25 中野区青山区長、教育委員準公選に関する区民投票条例公布 6.8 中教審、地域社会と文化について答申 7.2 盲・ろう・養護学校小中高の新学期指導要領改訂告示 10.16 関西経済同友会が「教育改革への提言—21世紀への選択」発表 12.12 文部省、公立高校の第4次教職員定数改善9カ年計画案を提出（16,400人増を予定） 12.28 政府、80年度予算編成で「40人学級」中心の「第5次学級編成・教職員定数改善計画」を12年計画でスタート案	2.1 総評第58回臨時大会、79春闘と都知事選候補、太田薫の推薦決定 3.9 中立労連と新産別、ゆるやかな連合体として全国労働組合総連合（総連合）を結成、議長に中立労連堅山利文選出 3.29 総評、春闘初の全国婦人労働者中央集会 4.25 79春闘、私鉄総連など72時間ストに突入 7.24 総評第59回定期大会、民間先行による労戦統一を容認（～27） 8.10 人事院、3.7%、7,373円引上げ、4週5休導入勧告 10.2 一般消費税反対国民総決起集会 10.31 総連合第2回総会、労戦問題で7項目提案を決定 11.16 総評、公明党と初の定期協議、榎枝議長、共産党除外の連合政権構想	1.2 ワルトハイム国連事務総長、「国際児童年」に当たりメッセージ発表 1.11 カンボジア、ポルポト政権崩壊 1.16 イラン、パーレビ王政崩壊、2.3ホメイニ師が臨時政府樹立を発表 5.4 英国総選挙、保守党大勝、サッチャー首相に 6.6 元号法案、参院本会議で可決成立6.12公布 6.6国際人権規約承認 6.28 東京で先進国首脳会議（～29） 10.7 第35回総選挙、自民248、大敗で党内抗争激化(40日抗争) 10.26 K C I A部長、朴正熙大統領を射殺 11.6 衆参本会議、首班指名で大平・福田両氏立候補、決戦投票で大平正芳再選 12.18 国連「女子差別撤廃条約」採択 12.21 衆参両院で一般消費税反対決議 12.27 ソ連、アフガニスタンのクーデターに軍事介入
1980. (昭和55)	2.4 全国戦術会議、賃上げ要求12%、26,000円、4.20頃の山場のストなど協議 3.3 日教組第54回臨時大会（～4）、春闘で3波の早朝スト決定 3.14 東京地裁、4.11ストで榎枝・増田氏に「あおり」、罰金10万円の判決 4.16 日教組、春闘第1波早朝1時間スト実施、29都道府県で30万人参加 5.4 日教組、「子どもの健康実態調査」発表 5.13 榎枝委員長、都教組が統一労組懇に加入すれば、大会で統制処分と表明 7.3 日教組、単縮教育世界会議をうけ、8月を「全国平和教育月間」とし、その取り組みを指示	1.22 自由新報、「いま教科書は—教育正常化への提言」連載開始（～8.12） 3.6 早大商学部で入試問題漏えいが判明 3.29 文部省、新学期から12年計画で行う小中学校の「40人学級編成」の第1年度実施計画決定 4.1 小学校の新教育課程全面実施、40人学級12年計画開始 5.15 東京都、主任手当支給を決定 6.9 パリでユネスコ主催、「単縮教育世界会議」開催（～13）	1.22 統一労組懇、ナショナルセンターのあり方懇談会を結成 2.6 総評第60回臨時大会（～7）、社公中軸路線支持方針を決定 2.20 同盟と総連合、労戦統一に関する会談再開 4.3 統一労組懇、「4.3中央総行動」実施 4.16 80春闘、公労協・公務員共闘がスト実施 5.24 第25回はたらく婦人の中央集会開催（～25） 6.26 労働4団体事務局長・書記長会談で労戦統一の申し合わせを確認	1.4 労働省、「男女平等問題専門家会議」発足 1.10 社・公両党、連合政権構想に合意 2.1 政府、モスクワ五輪不参加発表 3.26 週休2日制関係閣僚会議、人事院勧告どおり4週1回の週休2日制導入を決定 5.4 ユーゴ、チトー大統領死去、87歳 5.16 衆院本会議、社会党提出の内閣不信任案可決、初の衆参同日選挙 5.18 韓国光州市で反政府デモ、機動隊と衝突 6.12 遊説中、大平正芳首相急死、70歳 6.22 衆院選、自民圧勝、参院選でも自民党安定多数



年 月	教員組織の動き	教 育	労働組合運動	国際・一般情勢
1980. (昭和55)	<p>7.12 日教組婦人部、8月の第26回母親大会に不参加を決定</p> <p>8.25 日教組第55回定期大会(盛岡～28)、都教組統制処分に関わる査問委設置、賛成多数で可決</p> <p>9.20 日教組第8回全国平和教育シンポジウム(広島)</p> <p>10.7 都教組、日教組査問委開催に抗議の書記長談話</p> <p>11.30 日教組、「4週5休実施試案」発表</p> <p>12.2 日本教育会館に「親と子の教育相談室」開設</p>	<p>7.22 奥野法相、記者会見で「現在の教科書は国防意識の面で欠陥がある」と強く批判</p> <p>10.7 岐阜県議会、教基法に「伝統を尊び、愛国心を養う」を加えよとの政府への請願を可決</p> <p>12.4 自民党文部会、教科書問題小委など5小委員会設置</p>	<p>7.14 総評幹事会、日本母親大会への不参加決定</p> <p>8.8 人事院、4.61%、9,621円引上げ勧告</p> <p>8.11 総評・社会党、政府に「閣僚の靖国神社参拝、靖国法案反対」を申入れ</p> <p>9.10 公務員共闘拡大委、丸山議長、小谷事務局長ら新役員選出</p> <p>9.30 民間6単産による「労戦統一推進会」発足</p> <p>10.21 国際反戦デー中央集会、総評の新平和4原則をめくり社・共が対立</p>	<p>7.17 鈴木善幸内閣成立</p> <p>7.19 モスクワ五輪(～8.3)、日本、西側不参加</p> <p>8.14 ポーランド、労働者がスト突入(～31)</p> <p>9.3 伊藤律、北京から帰国</p> <p>9.9 イラン・イラク、西部国境地帯で交戦、イラン・イラク戦争始まる</p> <p>9.18 自民党憲法調査会、改憲審議を開始</p> <p>11.29 川崎で予備校生、金属バットで両親殺害</p> <p>12.7 戦争への道を許さない女性たちの集会開催</p>
1981. (昭和56)	<p>2.8 日教組、4月より退職者共済を発足させると発表</p> <p>3.2 日教組、総理府・文部省に女性差別撤廃条約批准を求め要請書提出</p> <p>4.3 日教組、組織率を発表、加入率54.55%、組合員総数72万7,026人</p> <p>4.24 横枝委員長、自民党教科書問題小委に招かれ意見陳述</p> <p>6.4 日教組、公務員2法反対で早朝1時間スト、32県参加</p> <p>6.11 日教組など8団体「教科書攻撃に総反撃する国民集会」開催</p> <p>7.14 日教組第56回定期大会(横浜～17)、教育実態総合調査を中心に教育運動重視の方針決定</p> <p>8.3 日教組、初の「平和教育教材資料」(小学校)刊行、以下中学、高校編刊</p> <p>8.10 日教組、教科書問題で「1,000万人署名」運動を展開すると発表</p> <p>9.25 全国退婦教、15周年記念総会(～26)</p> <p>10.15 北教組、支給された主任手当2億1,000万円、現金で道教委に返還、道教委は受取り拒否</p> <p>10.29 日教組、行革法粉砕29分カット統一スト</p> <p>11.3 日教組第105回臨時中央委、労戦統一は「総評民間単産中1単産でも準備会発足に反対または留保すれば反対」の態度で総評大会に臨む修正案を1票差で可決</p>	<p>1.23 国公・私立51大学自治会、学費値上げ反対で全国統一ストライキ</p> <p>2.25 中野区教委準公選、投票率42.98%、3名任命</p> <p>3.9 衆院で教科書論議</p> <p>4.1 沖縄県教委、主任制実施、全都道府県で完了</p> <p>4.1 中学校の新教育課程全面実施</p> <p>6.4 衆院本会議、放送大学学園法案可決成立</p> <p>6.10 10人の学者文化人、自民党の教科書非難、統制に抗議する「よびかけ」発表、8.15教科書問題を考える市民の会結成</p> <p>6.11 中教審、「生涯教育について」答申</p> <p>8.14 防衛白書、「愛国心教育の必要」を強調</p> <p>9.18 政府、国連大学本部を東京・青山に設置することを決定</p> <p>11.13 総評、日教組、出版労連など12団体主催による2万人教科書集会、日本武道館で開催</p> <p>11.20 民主教育をすすめる国民連合「結成10周年・国民大集会」開催</p> <p>11.24 第13期中教審発足、初等中等教育のあり方を検討</p>	<p>1.26 総評5役員議・幹事会、丸山副委員長の第2臨調委員への推薦と行革対策委設置を決定</p> <p>2.4 総評第62回臨時大会、労戦統一で労働4団体の共同歩調を強化する方針決定</p> <p>3.10 総評・日教組など8団体、「教育・教科書の反動化に反対する国民集会」開催</p> <p>4.23 公労協、公務員共闘、統一スト中止</p> <p>5.15 日ソ婦人セミナー(～16)</p> <p>6.4 公務員共闘、公務員2法阻止で早朝1時間スト</p> <p>6.23 総評、総連合と労戦統一問題で懇談、総評が労働4団体の協議開始を要請</p> <p>8.7 人事院、5.23%、11,528円引上げ勧告</p> <p>8.11 総評、総連合と労戦統一問題で協議、5項目補強見解の受入れが統一準備会参加の条件ではないと発言</p> <p>9.29 日ソ友好と平和のための労働組合集会・婦人集会開催(～10.1福岡)</p> <p>11.4 総評第64回臨時大会、労戦統一問題結論出ず、別途拡評での決定を確認</p> <p>11.25 公務員共闘、人勤完全実施を要求し最高2時間の統一スト</p> <p>12.14 総評幹事会、統一準備会参加で留保条件を解除、5単産の参加確認</p>	<p>国連総会、本年を国際障害者年(1976総会決定)</p> <p>2.11 市川房枝死去、87歳</p> <p>2.24 国家公務員の週休2日制、3.29から施行決定</p> <p>2.25 コーマ教皇パウロ2世、広島で平和アピール</p> <p>3.2 中国「残留日本人孤児」47人、初来日</p> <p>3.16 第2次臨時行政調査会初会合、土光敏夫会長</p> <p>5.10 仏大統領選、社会党のミッテラン当選</p> <p>6.27 中国共産党、6中全会で胡耀邦主席を選出</p> <p>7.10 第2次臨調、第1次答申を首相に提出、40人学級中止、私大助成抑制など</p> <p>7.20 3大都市間でファクシミリ電送開始</p> <p>8.15 鈴木首相ら19閣僚、靖国神社参拝</p> <p>9.3 「女性差別撤廃条約」発効</p> <p>9.11 政府、閣議で82年度より5年間に国家公務員5%削減を決定</p> <p>10.6 エジプト、サダト大統領暗殺、62歳</p> <p>11.13 衆院本会議、公務員2法案可決</p> <p>12.1 公明党大会、自衛隊合憲を主張</p> <p>12.10 土光臨調会長、鈴木首相に増税なき行革、財政再建を要望</p> <p>12.13 ポーランドで戒厳令</p>

年 月	教員組織の動き	教 育	労働組合運動	国際・一般情勢
1981. (昭和56)	12.12 第2次教育制度検討委発足、会長大田堯 12.24 私学助成復活のため全私学総決起大会開催		12.14 労働戦線統一準備会発足総会、39単産380万人が参加	
1982. (昭和57)	1.14 日教組、学者・文化人らで構成する「国歌を考える会」発足 1.24 日教組、「自衛隊の高校介入実態調査」結果発表 3.3 第106回中央委、平和教育の協力推進を提唱 4.14 日教組、15日予定の春闘スト中止を決定 6.11 盛岡地裁、4.11ストで佐藤元委員長に無罪判決 6.19 第2次教育制度検討委、中間報告を提出 6.28 日教組第57回定期大会(島原～7.1)5カ所で分散大会 8.10 日教組、日高教加盟の50教組、連名で鈴木首相、小川文相に「反動的教科書検定に嚴重抗議」の申入れ 9.17 日教組など教科書8団体、「日本の軍国主義化と現行教科書検定に反対する中央集会」開催 9.18 日教組第10回平和教育シンポジウム(広島市) 10.3 全国戦術会議、人勸完全実施で半日スト提起 11.4 日教組第107回中央委、午前半日スト決定 11.29 全国戦術会議、「午前半日スト」批准が27道府県で成立と発表 12.9 日教組、出版労連など9団体「教科書を考える音楽と文化の集い」 12.10 戦術会議、午前半日ストを早朝2時間に変更 12.16 日教組、午前2時間ストに突入 12.24 日教組、早朝2時間の第2波ストを29分カットに変更、実施	1.14 小川平二文相、日教組など教育関係8団体と会談、主任手当、教科書問題などで平行線 4.8 最高裁、教科書裁判第2次訴訟の上告審で家永勝訴の2審判決を破棄、高裁差戻し判決 5.19 東京高裁、内申書裁判で控訴審判決、原告逆転敗訴 6.4 文部省、「校内暴力問題を中心に」をまとめ、全国の中学校などに配布 7.23 小川文相、教科書問題で横枝委員長と激論、中国・韓国の批判を内政干渉と反発、7.27陳謝 8.11 婦人有権者同盟、「教科書記述の再修正」を文相に要請 8.29 出版労連、小川文相に「記述改善」の申入れ、「戦争記述」に対する検定の変遷を分析した報告書発表 9.4 沖縄県議会、日本軍の県民虐殺の記述復活要求について意見書採択 10.26 WCO T P主催「軍縮教育国際シンポジウム」開催(広島市～29) 11.17 第12回「民主教育をすすめる国民大集会」 12.2 三省堂「高校世界史」「日本史」「新日本史」の正誤訂正を文部省に申請、拒否される、4社9冊の正誤表が拒否となる	1.13 日教組、自治労、全通の3単産連絡会議が発足 1.29 総評、ポーランド「連帯」支援集会 2.28 労働4団体、1兆円減税賃上げ完全獲得2.28メーデー 3.26 私鉄総連など民間7単産、統一準備会に参加要請 4.12 総評、労戦統一問題で12単産会議のまとめを確認 5.23 82反核・軍縮・平和のための東京行動、40万人が参加 7.5 統一準備会第8回総会、全民労協の発足へ向けて「基本方針」決定 7.25 総評第66回定期大会(～28)、全民労協参加の方向を決定 8.6 人事院、4.58%、10,715円引上げ勧告 8.6 公務員共闘、人勸完全実施を政府に申入れ 9.21 公務員共闘、人勸凍結抗議スト 10.21 総評第67回臨時大会、仲裁・人勸実施要求統一スト実施を決定 11.18 総評、人勸凍結反対・年末一時金獲得東京総行動 12.6 統一労組懇臨時総会(～9)、「階級的ナショナルセンターの確立急務」と宣言 12.14 全日本民間労働組合協議会(全民労協)結成総会、41単産、423万人が参加 12.16 総評、人勸・仲裁完全実施で統一スト	2.8 ホテル・ニュージャパんで火災、32名死亡 3.21 核廃絶の「ヒロシマ・アピール」採択 4.25 イスラエル、シナイ半島をエジプトに全面返還 5.20 英海兵隊、フォークランド上陸開始、6.14アルゼンチン軍降伏 6.7 第2回国連軍縮特別総会開催(ニューヨーク～7.10) 7.20 中国・人民日報、韓国・東亜日報、文部省の教科書検定の「侵略」修正記述を批判 7.30 臨調第3次答申、国鉄、電電、専売の3公社分割、民営化を打ち出す 8.26 政府、教科書検定問題で「政府の責任において是正する」と見解発表 9.20 給与関係閣僚会議、人勸凍結決定 9.26 鈴木首相訪中、趙紫陽総書記との会談で教科書問題の決着はかる 11.12 ソ連、ブレジネフ書記長死去、75歳、アンドロポフ書記長就任 11.12 ポーランド、拘禁中のワレサ連帯委員長を釈放 11.25 自民党、中曽根康弘を総裁に選出、11.27中曽根康弘内閣成立
1983. (昭和58)	3.25 岩手県教組の学テ反対闘争処分取消訴訟、県教委と和解成立 4.5 日教組、82年に続き自衛隊等の「高校教育介入実態調査」発表 4.13 福岡県奥田新知事、教職員のスト処分実損回復に取組む意向表明	2.4 文部省の「退学者数状況」調査で昨年度公立高校退学者は63,353人、全体の1.9%と判明 2.10 横浜で中学生、浮浪者を襲撃 2.15 町田市内の中学で教師の生徒刺傷事件発生 4.1 放送大学設置、85年度から学生募集	3.11 総評、民間8単産の全民労協加盟を申請 3.24 社会党、参院に「男女雇用平等法」提出、のち廃案となる 4.12 国鉄分割民営化反対中央総決起集会	1.18 中曽根首相訪米、日米首脳会談、「不沈空母、4海峡封鎖」発言問題化 2.28 第2臨調、第4次答申 3.14 第2臨調、行革に関する第5答申(最終答申)を首相に提出 4.10 統一地方選、北海道・福岡に革新知事誕生

年 月	教員組織の動き	教 育	労働組合運動	国際・一般情勢
1983. (昭和58)	<p>5.19 日教組、「教職員の健康調査」結果を発表</p> <p>5.27 福岡高裁、佐賀県教組の定数削減反対闘争の処分取消控訴審判決で1審判決取消し、原告逆転敗訴の判決</p> <p>5.30 日教組、「中学生の問題行動を考えるシンポジウム」開催</p> <p>6.14 横枝委員長、記者会見で義務教育12年制を提唱</p> <p>6.20 日教組本部で右翼、総務部長を監禁、傷害</p> <p>7.5 第109回中央委、人勸実施で早朝2時間スト決定</p> <p>7.19 第2次教育制度検討委、最終報告書『現代日本の教育改革』を提出</p> <p>8.8 母と女教師の会30周年記念全国集会（～9）、延べ5,000名参加</p> <p>8.30 第58回定期大会（岡山県湯原～9.2）、プレハブ会場で開催、田中一郎委員長以下新執行部選出</p> <p>11.8 日教組第110回中央委、教科書・教員免許法案反対でスト決定</p> <p>12.14 田中委員長、福岡県庁で中曾根首相の「七つの構想」批判</p>	<p>5.21 第2回平和・軍縮教育フォーラム、横浜で開催</p> <p>6.14 首相の私的諮問機関、「文化と教育に関する懇談会」初会合</p> <p>6.18 飛鳥田社会党委員長、「教育改革国民会議」の設置を提唱</p> <p>6.30 中教審、「教科書の在り方について」答申</p> <p>7.6 日経連、「近年の校内暴力問題について」発表</p> <p>7.30 文部省、「公立小中学校の過大規模校調査」結果を発表、今年4月現在で31学級以上2,144校</p> <p>8.5 文部省、特設「道徳」実施の徹底を通達</p> <p>11.22 教育職員養成審、「教員の養成及び免許制度の改善について」答申</p> <p>12.5 文部省、校内暴力など問題行動生徒の出席停止措置について通知</p> <p>12.10 中曾根首相、選挙中「教育改革の七つの構想」発表</p> <p>12.24 福岡高裁、伝習館高3教諭の処分取消訴訟で原告の控訴棄却</p>	<p>4.25 公務員共闘、人勸問題で総務庁長官の「最大限の努力」を評価、26日のスト中止</p> <p>5.21 第28回はたらく婦人の中央集会</p> <p>6.30 総評幹事会、行革審委員に横枝議長の推薦決定</p> <p>7.25 総評第69回定期大会（～28）、議長に私鉄総連黒川武、事務局長に自治労真柄栄吉選出</p> <p>8.5 人事院、2年分の6.47%、15,230円引上勧告</p> <p>8.8 公務員共闘、人勸完全実施を政府に申入れ</p> <p>8.24 自治労第44回定期大会（～27）、統一労組懇系20単組の権利停止を決定</p> <p>9.28 日経連、男女雇用平等法制定に反対表明</p> <p>10.7 公務員共闘、人勸完全実施を要求、早朝2時間スト</p> <p>11.1 労働4団体と全労協による84春闘連絡会が発足、6%以上の賃上げ要求を決定</p> <p>11.10 総評など男女雇用平等実現で座り込み中央行動</p>	<p>4.15 東京ディズニーランド開園</p> <p>5.20 参院本会議、「臨時行政改革推進審議会設置法案」可決成立</p> <p>5.26 日本海中部地震発生、秋田で遠足の児童ら99人死亡</p> <p>6.13 愛知県警、戸塚ヨットスクール校長を傷害致死で逮捕</p> <p>7.1 政府、閣議で臨時行革審の7委員を発令、労働界から横枝総評議長、宇佐美同盟会長の2名</p> <p>9.1 大韓航空機、ソ連領空を侵犯、撃墜され乗員29名、乗客240名死亡</p> <p>10.12 ロッキード事件、田中被告に懲役4年、追徴金5億円の実刑判決</p> <p>10.29 宮之内貞光元日教組委員長死去、66歳</p> <p>12.26 自民、新自由クが統一党派</p>
1984. (昭和59)	<p>2.26 全日本教職員連盟結成（反日教組統一組織）</p> <p>3. 日教組、「家庭科教育内容検討委員会」発足</p> <p>4.13 日教組第59回臨時大会、臨教審と教免法改悪反対を決議、教育改革国民プランを発表</p> <p>4.24 日教組など教科書関係9団体、家永訴訟支援・臨教審法案反対集会</p> <p>4.25 「みんなで教育改革を」教育臨調に反対する連絡会議結成、6.14、5万人集会開催</p> <p>6.8 家庭科の男女共修を進める会、文部省に家庭科の男女共修を申し入れ</p> <p>6.14 日教組、行革審土光会長に主任手当制度撤回、40人学級実施の要望書提出</p> <p>6.18 第60回定期大会（沖縄～21）、反動3法案阻止、沖縄に学び平和教育、平和運動を前進させる特別決議</p>	<p>1.19 家永三郎、東京地裁に第3次教科書訴訟提訴</p> <p>3.13 世界を考える京都座会、「学校の活性化」のための7つの提言</p> <p>3.22 文化と教育に関する懇談会、教育体制の検討を求める報告書提出</p> <p>3.27 臨教審設置法案、教免法改正法案提出</p> <p>6.4 文部省、家庭科教育に関する検討会議発足</p>	<p>1.14 全労協代表者会議、全国9ブロックの地域連絡会設置を決定</p> <p>2.8 総評第70回臨時大会、初めて男女雇用平等法実現をスローガンに</p> <p>3.23 労働4団体、全労協、婦人差別撤廃条約批准、男女雇用平等法制定要求集会</p> <p>4.17 労働4団体、全労協、「均等法に対する合同対策会議」設置</p> <p>5.9 婦少審、男女雇用機会均等法案を答申</p> <p>5.14 政府、「男女雇用機会均等法案」国会提出</p> <p>5.20 効力ある平等法を！女も男も連帯委主催の全国総決起集会</p> <p>6.1 実効ある男女雇用平等法を実現させる6.1全国総決起集会開催（日比谷野外音楽堂）</p>	<p>1.5 中曾根首相、現職首相として戦後初の年頭に靖国神社参拝</p> <p>1.18 三井有明鉱で坑内火災、83人死亡</p> <p>3.18 江崎グリコ社長誘拐、5.10同社の製品販売中止、かい人21面相事件</p> <p>5.18 「国籍法改正」成立</p>

年 月	教員組織の動き	教 育	労働組合運動	国際・一般情勢
1984. (昭和59)	<p>7.5 臨教審設置法案に反対する統一行動、29分戦術に</p> <p>7.31 臨教審反対中央集会に7,000人参加</p> <p>8.13 日教組、教育改革、40人学級で森文相交渉</p> <p>10.19 日教組、「軍事基地を結ぶ平和教育交流集会」開催(沖縄～22)</p> <p>11.27 日教組、事務・栄養職員を中心に国庫負担制度改悪阻止闘争強化</p> <p>11.28 「みんなで教育改革を」教育臨調に反対する連絡会議の反対集会に8,000人参加</p> <p>12.4 義務教育費国庫負担制度改悪反対、40人学級早期実現等で文部省交渉</p> <p>12.11 教育改革を考える国際シンポジウム、8カ国9教職員団体参加、公教育の擁護と発展で共同声明</p>	<p>7.20 経済同友会教育問題委、教育改革意見発表</p> <p>8.7 臨教審設置法成立</p> <p>9.5 臨教審初会合</p> <p>10.15 文部省、幼稚園教育の実態調査実施</p> <p>10.16 文部省、大学短大等の卒業後状況調査結果を発表、短大卒女子の就職率79.7%で史上最高</p> <p>12.19 家庭科教育に関する検討会議「今後の家庭科教育のあり方」について報告、男女ともに選択必修の方向</p>	<p>7.20 パート減税法成立</p> <p>8.10 人事院、前年カット分含め6.44%、15,541円引上げ勧告</p> <p>10.24 国労、分割民営化阻止、首切り撤回、雇用確保を要求する中央集会</p> <p>10.26 公務員共闘、人勤の早期完全実施を要求し時限スト</p> <p>11.14 全労協第3回総会、連合体化で10単産代表による検討委の設置決定</p>	<p>7.28 第23回ロスアンゼルス五輪開催(～8.)、ソ連、東欧15カ国が不参加</p> <p>10.31 インドのインディラ・ガンジー首相暗殺さる</p> <p>11.1 1万円、5千円、千円の新札発行</p> <p>12.25 日本電信電話株式会社法公布</p>
1985. (昭和60)	<p>1.13 日教組田中委員長、臨教審反対の教育改革報告書を4月までに出すと会見</p> <p>2.9 教育改革研究委員会発足、委員長田中一郎</p> <p>2.20 臨教審の公聴会で田中委員長、公教育の拡大と35人学級など提起</p> <p>3.6 日教組第113回中央委、反臨教審と結合した春闘方針可決</p> <p>3.17 教育改革シンポジウム、自由と平等の教育原則について検討</p> <p>3.27 入試制度改革を考えるシンポジウム(東京)</p> <p>4.10 日教組、春闘で文部省交渉、学校事務職員給与問題で前進</p> <p>5.18 第1回全国教職員バレーボール大会(神奈川)</p> <p>6.26 臨教審第1次答申に対し日教組見解</p> <p>6.28 教育改革研究委員会も批判の見解</p> <p>7.4 田中委員長ら、臨教審答申の具体化中止を首相に申入れ</p> <p>7.10 日教組第61回定期大会(津市～15)、臨教審答申反対、国民合意による教育改革を討論</p>	<p>1.30 文部省、『現代の家庭教育—乳幼児期編』発行</p> <p>2.12 学者、文化人ら12人で教育臨調に対抗し教育問題研究会発足</p> <p>2.13 中野区教育委員準公選第2回区民投票</p> <p>2.19 理科・産業教育審「情報化時代に対応した高校職業教育」を答申</p> <p>4.1 放送大学授業開始</p> <p>4.8 女性による民間教育審議会結成、依萌子代表</p> <p>4.18 警察庁、初の「いじめ白書」発表</p> <p>4.24 臨教審、「審議経過の概要その2」公表、6年制高等学校、共通テストなどの新設提唱</p> <p>5.4 総務庁、4.1現在の子どもの人口発表、15歳未満前年より41万人減の2,627万人</p> <p>5.9 岐阜県立岐陽高生、教師の体罰で死亡</p> <p>6.26 臨教審、第1次答申提出、個性重視の原則</p> <p>7.19 臨教審第3部会、「教育陪審制度」を検討課題とすることを決定</p>	<p>2.7 総評第72回臨時大会(～8)、黒川議長がストなし春闘打破を強調</p> <p>2.13 総評、「実効ある男女雇用平等法」を実現させる中央行動(東日本～14、西日本2.21～22)</p> <p>3.27 総評、実効ある男女雇用平等法の実現要求全国総決起集会</p> <p>4.1 民間全電通発足、NTTと経営協議会の設置で基本合意</p> <p>4.25 労働4団体と全労協、男女雇用機会均等法の参院社労委可決に対し批判の共同声明</p> <p>6.1 男女雇用機会均等法公布</p> <p>7.15 国連婦人の10年世界会議、ナイロビ将来戦略採択(ナイロビ～26)</p> <p>8.7 人事院、4月1日にさかのぼり平均5.74%、14,312円引上げ勧告</p>	<p>2.5 竹下登を領袖とする創政会結成</p> <p>2.27 田中元首相脳梗塞で入院</p> <p>3.10 チェルネンコソ連書記長死去、3.11ゴルバチョフ氏書記長に就任</p> <p>3.22 厚生省、国内エイズ患者第1号認定</p> <p>4.1 NTT、日本たばこ産業会社発足</p> <p>4.23 民社党党大会、塚本三郎委員長、大内啓伍書記長選出</p> <p>5.17 男女雇用機会均等法成立</p> <p>6.6 国家機密法案、衆院に提出、12.12廃案</p> <p>6.11 労働者派遣事業法成立</p> <p>6.24 女性差別撤廃条約批准</p> <p>8.12 日航機、御巣鷹山に墜落、520名死亡</p> <p>8.15 中曽根首相、靖国神社を公式参拝</p> <p>8.25 非核を求める草の根全国集会1,000人</p>

年 月	教員組織の動き	教 育	労働組合運動	国際・一般情勢
1985. (昭和60)	<p>8.26 委員長書記長会議、人勳・教育闘争軸に秋闘を確認</p> <p>9.4 教育改革研究委員会第4回総会、各委員会からの改革案ほぼ揃う</p> <p>9.10 軍事基地を結ぶ平和教育交流集会(札幌～13)</p> <p>9.25 教育改革を考える国民シンポジウム(～27)</p> <p>11.20 東京高裁、4.11スト事件で横枝氏らに不当判決</p> <p>11.27 第62回臨時大会、臨教審路線に対決、草の根教育改革へ総決起を確認</p> <p>12.2 わたくしたちの求める教育改革宣言集会</p> <p>12.8 被爆40周年反核反戦平和教育運動を強める教職員の集い</p> <p>12.18 民主教育をすすめる国民連合、臨教審反対などを内容とする162万署名を文部省に提出</p> <p>12.22 日教組婦人部訪中団、「日本軍国主義の爪あと」視察(～86.1.4)</p>	<p>9.5 文部省、国旗掲揚と国歌斉唱徹底を各教委に通知</p> <p>9.10 教育課程審議会発足、会長福井謙一、幼稚園から高校までの教育課程の抜本的再編成めざす</p> <p>10.15 日弁連、「学校生活と子どもの人権」調査報告書発表、</p> <p>10.18「子どもの人権保障」を提言</p> <p>10.25 文部省、いじめ問題に対応するための緊急会議、全教育委員会にいじめと教師の体罰に関する総点検と指導状況、実態調査を指示</p> <p>11.14 国大協、受験機会の複数化を1987年春から実施決定</p> <p>11.17 都教育庁、「問題教師」審査機関の85年度設置を決定</p> <p>12.26 文部省、新学力テストの結果を公表</p>	<p>10.5 国鉄、85.8.5のスト参加者の国労、動労組合員64,387人処分</p> <p>10.11 政府、国鉄民営化「国鉄改革のための基本方針」決定</p> <p>10.30 全電通山岸委員長、官公労統一の「官公労政策問題懇談会」づくりを提唱</p> <p>11.15 全労協第4回総会、87年11月に連合体へ移行の方針確認</p> <p>11.29 総評、「労基法改悪反対、雇用の機会均等、待遇の平等を確保するための中央行動」(～12.27)</p> <p>12.14 総評単産県評代表者会議、次回総評定期大会で官民の全的統一の青写真提起を確認</p> <p>12.19 労働基準法研究会、労働時間に関する最終報告</p> <p>12.27 婦少審、「均等法および改正労基法の指針、省令案」答申</p>	<p>10.11 閣議、国鉄の分割・民営化を決定</p> <p>10.19 平和構想懇談会と22人平和委員会共催で「1%問題と軍縮を考える緊急シンポジウム」開催</p> <p>11.8 政府、85年度の国家公務員給与引上げ決定、率は人勳どおり</p> <p>11.22 国連婦人の10年日本大会開催</p> <p>12.20 衆院内閣委員会理事会、国家機密法案の廃案決定</p> <p>12.27 共済年金改革4法成立</p>
1986. (昭和61)	<p>3.7 日教組婦人部、学校事務職員・栄養職員への育児休業法適用拡大等で文部省交渉</p> <p>4.17 日教組、国立大学協会に「受験複数化などの拙速を避けよ」と申入れ</p> <p>4.23 日教組・民主教育をすすめる国民連合、臨教審第2次答申に反対の中央集会</p> <p>4.30 田中委員長、「西岡武夫氏を叱る会」に出席</p> <p>5.16 日教組、国民の求める教育改革を実現する緊急全国集会</p> <p>5.23 日教組、「教員の研修改善」等の文部省諮問は管理統制強化と見解表明</p> <p>5.27 日教組、日本を守る国民会議作成の「高校日本史」教科書の採択強化阻止の見解発表</p> <p>7.7 日教組、89年度使用教科書の検定結果に対し、「改憲の道具にするな」などの抗議を表明</p> <p>7.10 天皇中心・侵略戦争肯定の教科書を批判するシンポジウム</p>	<p>1.22 臨教審「審議経過の概要」発表</p> <p>2.1 中野区立富士見中生、いじめを苦に自殺</p> <p>2.1 全国教員養成問題連絡会世話人会、初任研は事実上の試補制度とみなされると見解発表</p> <p>3.19 東京高裁、第1次教科書訴訟で家永三郎の請求すべて棄却の判決</p> <p>4.23 臨教審、生涯教育、初任者研修制度など教育の管理・統制を狙う第2次答申</p> <p>4.25 国大協、17日の日教組の申入れに対し、受験機会複数化は来年から実施したい等と回答</p> <p>5.27 日本を守る国民会議(加瀬俊一議長)の復古調高校日本史教科書「新編日本史」、文部省教科用図書検定調査審議会を通過</p> <p>6.16 教育課程審議会総会、学校週5日制を討議、条件付き賛成が多数</p> <p>7.7 日本を守る国民会議編集の高校日本史教科書、修正を受け検定に合格</p>	<p>2.4 全労協連合準備会、「進路と役割」と規約原案を確認</p> <p>4.10 私鉄総連、5年ぶりにスト突入</p> <p>4.13 国労脱退者の一部が「新国労」を結成</p> <p>5.14 総評「国鉄解体法案強行採決反対中央集会」</p> <p>5.26 総評拡大評議員会「労働戦線の全的統一の目標とプロセス」提案</p> <p>5.29 自治労中央委、2年後の同盟系官公労との統一を提案</p> <p>6.30 派遣労働者のための労働組合「ろうきょうユニオン」発足</p> <p>7.15 総評第57回定期大会(～18)、動労の方針転換に批判続出</p>	<p>1.1 スペインとポルトガル、ECに加盟</p> <p>2.25 フィリピン、マルコス政権崩壊、コラソン・アキノ氏が大統領就任</p> <p>3.26 燃糸工連事件発生</p> <p>4.1 男女雇用機会均等法施行</p> <p>4.26 ソ連、チェルノブイリ原子力発電所で大規模事故発生</p> <p>4.29 政府主催、天皇在位60周年記念式典開催</p> <p>5.4 東京サミット(～6)</p> <p>6.10 臨時行政改革推進委員会、最終答申を中曽根首相に提出</p> <p>7.6 衆参ダブル選挙、自民300大勝、社会85議席</p>

年 月	教員組織の動き	教 育	労働組合運動	国際・一般情勢
1986. (昭和61)	<p>8.21 第5回子どもの人権と体罰を考える全国シンポジウム(大阪～22)</p> <p>8.29 日教組第116回臨時中央委、開催するも流会、9.11統開臨時中央委開催</p> <p>9.24 日教組・日高教「ゆきとどいた高校教育をすすめる父母と教職員の中央集会」開催</p> <p>9.24 退婦教全国連絡協議会20周年記念総会</p> <p>10.24 仙台高裁、74春闘4.11ストの控訴審判決で検察側控訴を棄却</p> <p>10.28 最高裁、長崎・対馬事件で上告棄却、日教組、抗議し闘争継続を表明</p> <p>11.20 日教組事務職員部、義務教育費国庫負担制度で中央行動、決起集会</p> <p>12.18 最高裁、夕張南高事件、道教委側の上告棄却</p>	<p>9.5 藤尾正文文相、韓国併合を正当化する発言、韓国は抗議、9.8文相罷免</p> <p>9.26 臨教審第3部会、教科書検定制度、教科書無償制度の維持方針決める</p> <p>11.27 文部省の大学入試改革協議会、新テスト実施を1年延期し90年度から実施が適当と文相に報告</p> <p>12.9 文部省、85年度「児童生徒の問題行動の実態調査」発表、校内暴力が減少した半面、登校拒否やいじめの教育相談増加</p>	<p>8.12 人事院、2.31%、6,096円引上げ勧告</p> <p>9.7 総評幹事会、動労の総評からの脱退届を受理</p> <p>10.14 労働4団体と全民労協、87春闘連絡会結成</p> <p>10.23 同盟三役会議・執行評議会、連合発足に合わせて同盟解散を確認</p> <p>11.14 全民労協第5回総会、87年総会での連合への改組発展を決定、「進路と役割」を確認</p>	<p>9.8 社会党委員長に土井たか子就任</p> <p>10.11 レイヤビクで米ソ首脳会談</p> <p>10.27 北海道で初の日米合同統合実動演習13,000人(～31)</p> <p>12.15 ベトナム共産党第6回大会、ドイモイ(刷新)政策提起</p>
1987 (昭和62)	<p>1.22 学校給食を考える会、日教組ほか「守ろう子どもの未来をーこれで良いのか学校給食全国集会」開催</p> <p>2.11 母と女教師の会全国集会</p> <p>3.13 日教組第63回臨時大会(神戸)、「機能回復、統一と団結の確保」を確認</p> <p>3.14 障害児を普通学級へ、全国連絡会世話人、「臨教審と障害児教育」をテーマに対談を実施</p> <p>3.18 日教組第5回高校教育シンポジウム開催(札幌)</p> <p>4.1 日教組、臨教審第3次答申に「教育民営化への転換」と見解発表</p> <p>4.14 日教組、文部省教育助成局長と交渉、文部省側、初任研試行へ協力を要請</p> <p>5.7 日教組第36次・日高教第33次教育研究全国集会開催(東京～10)</p> <p>5.29 日教組40周年記念第2回全国教職員バレーボール大会開催(神奈川～30)</p> <p>6.8 日教組、「結成40周年を祝う」記念式典開催</p> <p>6.12 教育改革研究委第11回総会「日本の教育をどう改めるかー私たちの求める教育改革提言(第3次報告案)」を審議・確認</p>	<p>1.23 臨教審、「審議経過の概要(その4)」を発表</p> <p>3.3 文部省、公立学校教員の4週6体制試行で、4月からまとめ取り方式で実施するよう通知</p> <p>4.1 臨教審、「教育改革に関する第3次答申」提出</p> <p>5.2 文部省、『現代の家庭教育ー小学校低・中学年編』を発行</p> <p>6.13 女性による民間教育審議会、「わたちの教育改革提言」発表</p> <p>6.30 文部省、88年度使用の高校用教科書の検定結果と検定事例発表</p> <p>7.21 教員の初任者研修の船舶による洋上研修、西日本で始まる</p>	<p>1.22 同盟第23回大会(～23)、11.19の解散と「友愛会議」設置を決定</p> <p>1. (財)日中勤労者交流センター創設、理事長榎枝元文、88.11日中技能者交流センターと改称</p> <p>2.1 労働5団体、売上税粉碎中央集会開催</p> <p>2.2 国鉄改革労協、「鉄道労連」を結成</p> <p>2.4 総評第76回臨時大会(～5)、売上税粉碎を決議</p> <p>3.29 労働4団体、売上税阻止、賃上げ要求総決起大会開催</p> <p>4.22 労働5団体、「売上税粉碎国会請願・強行採決糾弾行動結集集会」</p> <p>7.7 動労第44回定期大会(～8)、組織解散を決定</p> <p>7.8 全電通第41回定期大会(～10)、総評解散方針決定</p> <p>7.14 総評第77回定期大会(～17)、90年の解散を決定</p> <p>7.26 統一労組懇年次総会(～28)、「階級的ナショナルセンター確立の展望と骨子」を承認</p>	<p>1.1 天安門前広場で学生が民主化を求めるデモ</p> <p>1.16 胡耀邦総書記辞任</p> <p>1.26 中曾根首相、施政方針演説で売上税への言及を回避</p> <p>4.1 国鉄が分割・民営化、JR6社が発足</p> <p>4.12 統一地方選、北海道と福岡で革新現職知事再選</p> <p>4.23 売上税法案、事実上廃案</p> <p>5.3 朝日新聞阪神支局、「赤報隊」に襲撃され記者死傷</p> <p>7.4 竹下登、田中派から独立「経世会」結成、113人の最大派閥誕生</p> <p>7.29 東京高裁、ロッキード事件で田中元首相の控訴を棄却、懲役4年の判決</p>

年 月	教員組織の動き	教 育	労働組合運動	国際・一般情勢
1987 (昭和62)	<p>7.9 日教組、国民連合など「大学審議会設置法に反対する中央総決起集会」開催</p> <p>8.21 子どもの人権と体罰を考える第6回全国シンポジウム（東京～22）</p> <p>10.31 教育委員準公選をすすめるための全国連絡会、全国交流集会開催</p> <p>11.12 全国教員養成問題連絡会、教育職員養成審議会の「中間報告」を批判</p> <p>11.26 日教組事務職員部、義務教育費国庫負担制度改悪阻止で中央行動</p> <p>12.8 第59回障害児学校部総会（教育会館）</p> <p>12.17 日教組12.17中央行動</p>	<p>8.7 臨教審、最終第4次答申を首相に提出、8.20、3年の設置期限切れで解散</p> <p>9.10 学校教育法及び私立学校法の一部改正、大学審議会令等公布</p> <p>10.23 政府、人事院勧告完全実施を決定、堀川文相、教員の4週6休体制、88.4よりまとめ取り方式で実施と会見</p> <p>11.13 教育課程審議会、社会科を「地歴科」と「公民科」分割方針決定</p> <p>12.16 文部省「教育委員会の活性化」について通知</p> <p>12.18 教育職員養成審議会、「教員の資質能力の向上方策等について」答申</p> <p>12.24 教育課程審議会、幼稚園から高校までの教育課程改訂について文相に答申</p>	<p>8.6 人事院、1.47%、3,985円引上げ勧告</p> <p>8.17 労働5団体の事務局長・書記長による労働戦線統一懇談会発足</p> <p>10.14 私鉄総連第53回臨時大会、連合加盟を決定</p> <p>10.22 同盟、「友愛会議」を設立、11.19解散、23年間の歴史に幕</p> <p>11.10 国労、協約改定闘争としてJR4社で指名スト開始</p> <p>11.19 中立労連解散</p> <p>11.20 全日本民間労働組合連合会（連合）発足、55単産539万人、初代会長櫻山利文電気労連委員長</p> <p>12.1 連合総研設立</p> <p>12.6 公務員共闘と公労協、「官公労協」を結成</p>	<p>8.20 社会党山口書記長、安保・自衛隊を容認</p> <p>9.22 天皇、腸の疾患で入院、医師団、がんではないと発表</p> <p>10.20 自民中曽根総裁、次期総裁に竹下登幹事長を指名</p> <p>11.6 竹下登内閣成立</p> <p>11.27 第111臨時国会、竹下首相、「ふるさと創世論」、間接税導入の表明（～12.12）</p> <p>11.29 大韓航空機爆破事件、乗員・乗客150人死亡</p> <p>12.8 ミソ首脳、INF（中距離核戦力）の地域的全廃条約に調印</p> <p>12.16 韓国大統領に民主党の盧泰愚総裁が就任</p>
1988. (昭和63)	<p>1.21 日教組弁護団、佐教組事件での最高裁判決に対し本件闘争の妥当性変わらずと見解</p> <p>2.1 日教組第64回定期大会（福島～3）、福田忠義委員長、大場昭寿書記長選出</p> <p>2.29 日教組、文部省に「生活科」の説明要求</p> <p>3.5 全国原爆被爆二世教職員の会結成（広島～6）</p> <p>4.11 全国戦術会議、臨教審関連6法案阻止の闘い提起</p> <p>4.27 日教組、「教特法案」廃案をめざす総決起集会</p> <p>4.27 教科書問題9団体、「社会科解体と日の丸・君が代強制に反対する集い」</p> <p>4.28 宮崎地裁、大宮第2高校事件で原告の処分取消し請求を棄却判決</p> <p>5.10 東京高裁、埼玉74春闘4.11全日スト事件控訴審、原判決支持の不当判決</p> <p>5.14 婦人部・退婦教主催「反核・軍縮、地球を守る女たちの集会」（広島・長崎・東京～22）</p> <p>5.24 日教組、臨教審関連6法案反対の29分スト</p>	<p>1.5 文部省「教育改革の推進一現状と課題」発表</p> <p>1.27 文部省、中野区準公選制改革案が依然として違法と都教委に通知</p> <p>2.15 大学入試協議会、90年度から実施予定の新テストの最終報告</p> <p>2.19 政府、教員の初任者研修制度化の「教育公務員特例法改正案」、高校定通課程の修業年限を3年以上とする「学校教育法改正案」を国会提出</p> <p>3.4 政府、「教員免許法の改正法案」を国会提出</p> <p>3.11 政府、ポスト臨教審に関する「臨時教育改革推進会議法設置案」、市町村教育長の専任化と4年任期制導入のための「地方教育行政の組織運営に関する法律改正案」を国会に提出</p> <p>4.1 文部省、単位制高校制度化、岩手、石川、長野で発足</p> <p>4.25 文部省、都道府県の中高等教育担当者会議を開催、校則の見直し指示</p> <p>5.18 大学入試センター改組等の国立学校設置法改正案可決・成立</p> <p>5.19 文部省、生徒指導担当指導主事連絡協議会で校則見直し指導を要請</p>	<p>2.4 総評第78回臨時大会（～5）、黒川議長、労戦の全統一の時期を89年秋にしたいと正式表明</p> <p>2.17 日経連、「労働時間問題に関する提言」を発表</p> <p>3.24 連合、89春闘生活闘争決起集会</p> <p>4.1 総評、連合共催「男女雇用機会均等法施行2周年記念集会」開催</p> <p>5.21 第33回はたらく婦人の中央集会開催（～22）</p>	<p>1.1 労働省、改正労働基準法の施行を通告、施行4.1</p> <p>3.13 青函トンネル開通、青函連絡船78年の歴史に幕</p> <p>3.24 上海郊外で高知学芸高校の修学旅行生、列車事故に遭い26名死亡</p> <p>4.10 本四連絡架橋、瀬戸大橋が開通</p> <p>4.14 アフガニスタン、ソ連との和平合意文書に調印</p> <p>4.17 国家公務員の4週6休体制の本実施</p> <p>5.15 ソ連軍、アフガニスタンから撤退を開始</p>

年 月	教員組織の動き	教 育	労働組合運動	国際・一般情勢
1988. (昭和63)	<p>6.29 日教組、アスベスト撤去工事等の安全対策について文部省に申入れ</p> <p>7.9 日教組教育課程検討委員会発足、山住正己会長</p> <p>7.18 日教組第65回定期大会（福岡～20）、子どもの人権保障を柱とする運動方針案決定</p> <p>9.12 日教組、「総学習・総要求・総行動」運動全国組織者集会（鬼怒川～14）</p> <p>9.13 日教組、「学校5日制検討委員会」を設置</p> <p>10.9 第37次教研全国集会東京集会（～12）、10.24札幌集会（～26）</p> <p>11.7 第66回臨時大会、教育職員免許法案の国会山場に「上限29分の全国統一行動」など88秋闘方針決議</p> <p>11.15 教育課程検討委、中間まとめを発表</p> <p>11.18 日教組、義務教育費国庫負担制度堅持等を求め第2次中央行動</p> <p>12.7 日教組、第2回平和運動交流集会（東京～8）</p>	<p>5.25 初任者研修制度化の「教育公務員特例法改正案」等が参院本会議で可決・成立</p> <p>7.1 文部省、機構改革で社会教育局が廃止、生涯学習局が発足</p> <p>11.30 文部省、児童生徒の問題行動の実態調査発表、登校拒否が中学で激増</p> <p>12.16 教育課程審、特殊教育諸学校の教育課程の改訂方針を答申</p> <p>12.19 大学審議会、大学院制度の弾力化方策を答申</p> <p>12.21 教員免許法改正案、参院で可決成立</p>	<p>6.3 労研センター全国幹事会、「全国労働組合連絡協議会」（全労協）結成の骨子を提言</p> <p>7.26 総評第79回定期大会、89年秋の解散を決定</p> <p>8.1 人事院、2.35%、6,470円引上げ勧告</p> <p>8.19 統一労組懇年次総会、階級的ナショナルセンター結成方針を決定</p> <p>10.25 新産別第41回定期大会で解散、39年の歴史に幕</p> <p>12.5 連合第15回中央委、「全国中央組織の基本方針」決定</p> <p>12.7 連合と総評・官公労の第8回首脳会談、新統一の官公労組の資格要件で合意</p> <p>12.16 連合初の地方組織、大阪連合正式発足</p>	<p>6.1 INF全廃条約発効</p> <p>6.14 自民党税調、3%の消費税導入を柱とする税制抜本改革大綱決定</p> <p>7.5 リクルート社をめぐる汚職事件発覚、政財界に波紋</p> <p>7.23 海上自衛隊の潜水艦なだしお、民間の釣船と衝突、乗客30人死亡</p> <p>8.20 イラン・イラク戦争停戦</p> <p>9.17 第24回ソウルオリンピック開幕（～10.2）</p> <p>9.19 天皇、突然に吐血、自粛ムード広まる</p> <p>11.8 米大統領選で共和党G.ブッシュが当選</p> <p>11.21 衆院予算委、リクルート問題で江副浩正社長らを証人喚問</p> <p>12.9 リクルート・コスモス株譲渡問題で宮沢喜一蔵相が辞任</p> <p>12.24 税制改革6法案、参院本会議で可決成立</p> <p>12.27 内閣改造で西岡武夫が文相就任</p>